

令和4年度 事業報告

教育活動

(1) 国家試験結果

| | | 合格者数／受験者数 | 合格率 |
|------|------|-----------|--------|
| 1 級 | 筆記試験 | 7／13 | 53.8% |
| | 口述試験 | 7／7 | 100.0% |
| | 総合結果 | 7／13 | 53.8% |
| 2 級 | ガソリン | 50／51 | 98.0% |
| | ジーゼル | 50／51 | 98.0% |
| 車体整備 | | 25／25 | 100.0% |

昨年に引き続き、車体整備士資格に関しては全員合格を達成できたが、2級自動車整備士資格については、残念ながら1名の不合格者を、1級自動車整備士資格については約半数の不合格者をだし、目標とは程遠い結果となってしまった。次年度に向け原因の究明を行い、しっかりと対策していく共に、今年度不合格となった学生の再受験に向けたサポートに取り組んでいく。

(2) 現在の自動車に対応できる技術を身に付けると共に、基礎学力向上及び豊かな人間性を持つ人材の育成。

【内容】

- ・学科授業の内容及び実施時期を実習とリンクして同時進行で進めることにより、難解な構造、作動、制御を無理なく修得できるカリキュラムを構築する。
- ・基礎学力の向上の為、班を少人数化し、放課後等に於ける個別指導の充実。
- ・人間教育の一環として、サーキットでのオフィシャル活動及びアジア・クロスカンントリーラリーへの学生の派遣等を行う。

【結果】

- ・昨年度に比べると、新型コロナウイルスによる学科及び実習授業への影響はなく、カリキュラムをこなすことが出来たと思われる。また、基礎学力の低い学生への対応について課題が残り、次年度以降はより一層の個別指導等の充実をはかり、国家試験合格につなげたい。
- ・サーキットでのオフィシャル活動及びアジア・クロスカンントリーラリーへの学生の派遣については、昨年同様、新型コロナウイルスの影響で学生の派遣が出来なかったが、国内ラリーにメカニックとして参加し、貴重な体験をさせることができた。

学生募集活動

自動車業界への進路を選択する高校生が減少し、昨年同様全国的に厳しい募集環境となっている中、ほぼ定員数を確保できている。

| | 2023 年度入学者数 | 2022 年度入学者数 |
|-----------|-------------|-------------|
| 一級自動車整備科 | 26 名 | 27 名 |
| 二級自動車整備科 | 45 名 | 43 名 |
| オートボディ研究科 | 11 名 | 25 名 |
| 合 計 | 82 名 | 95 名 |

就職活動

就職斡旋希望者の内定率 54 名 / 54 名 100%

| 就職内定先 | 内定者数 |
|----------|------|
| 小型車ディーラー | 31 名 |
| 大型車ディーラー | 0 名 |
| 専業・自家 | 9 名 |
| 板金・塗装専門 | 5 名 |
| 設計・開発 | 0 名 |
| 建機 | 0 名 |
| その他 | 9 名 |
| 合 計 | 54 名 |